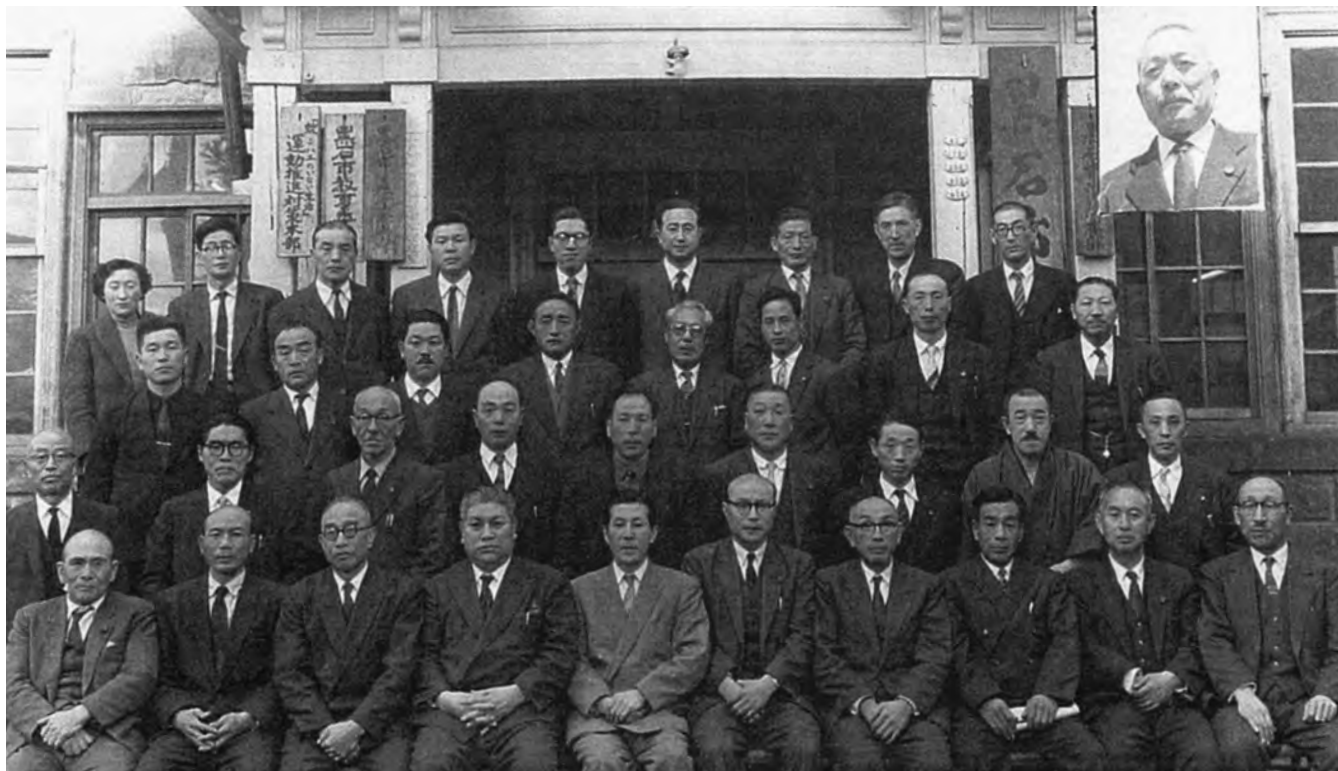


第 1 回期黒石市議会 議員定数30名(昭和30年 5 月 1 日～昭和34年 4 月30日【昭和34年 3 月頃】)



(※合併期の 106 人 議員任期は昭和 29 年 7 月 1 日から昭和 30 年 4 月 30 日まで。)

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会から市議会議員として長きにわたり市政の振興に尽くされた功績により、5 名の議員が表彰されました。

35年表彰を村上隆昭議員が受けました。15年表彰を北山一衛議員、工藤和子議員、後藤秀憲議員、佐々木隆議員が受けました。



目 次

第 1 回臨時会概要……………	2
市長の抱負……………	3
第 2 回定例会概要……………	3
市政に対する一般質問 ……………	4～7
活動報告……………	7
議会トピックス……………	8

平成26年第1回臨時会の概要

平成26年第1回臨時会は5月26日の1日で開かれ、市長提出の15報告・6議案を慎重な審議の上、いずれも原案どおり承認・報告・可決いたしました。

第1回臨時会の各議案の議決結果と各会派の賛否は下記のとおりです。

第1回臨時会の報告・議決結果と各会派の賛否一覧（○は賛成、●は反対）

番 号	件 名	会 派 名	自民・公明 ク ラ ブ	黒石市民 ク ラ ブ	日 共 産 本 党	議 決 結 果
報告第8号	黒石市税条例等の一部を改正する条例制定について		○	○	○	承認
報告第9号	黒石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について		○	○	●	承認 (起立多数)
報告第10号	黒石市都市計画審議会条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	承認
報告第11号	平成25年度黒石市一般会計補正予算(第9号)について		○	○	○	承認
報告第12号	平成25年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について		○	○	○	承認
報告第13号	平成25年度黒石市介護保険特別会計補正予算(第4号)について		○	○	○	承認
報告第14号	平成25年度黒石市観光施設事業特別会計補正予算(第5号)について		○	○	○	承認
報告第15号	平成25年度黒石市簡易水道特別会計補正予算(第2号)について		○	○	○	承認
報告第16号	平成25年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算(第3号)について		○	○	○	承認
報告第17号	平成25年度黒石市水道事業会計補正予算(第3号)について		○	○	○	承認
報告第18号	平成25年度黒石市下水道事業会計補正予算(第3号)について		○	○	○	承認
報告第19号	平成26年度黒石市一般会計補正予算(第1号)について		○	○	○	承認
報告第20号	黒石市承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	承認
報告第21号	平成26年度黒石市一般会計補正予算(第2号)について		○	○	○	承認
報告第22号	権利の放棄について		○	○	○	報告
議案第81号	黒石市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第82号	黒石市手数料条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第83号	工事請負契約の締結について		○	○	○	原案可決
議案第84号	平成26年度黒石市一般会計補正予算(第3号)		○	○	○	原案可決
議案第85号	平成26年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	原案可決
議案第86号	平成26年度黒石市温泉供給事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	原案可決

新市長就任に伴う 議会に対する抱負

第2回定例会で、初めての黒石市議会を体験し感じたことは、県議会とは違い市議会の進め方があることを実感しました。

今回はじめて一問一答方式が行われ、議員・理事者双方とも戸惑いながらも新たな取り組みに手ごたえを感じていたようです。しかし、もっと実効性を上げるには少しずつ手直しを行う必要があるのかもしれません。

議会改革が叫ばれている昨今、黒石市議会においては市民目線を大切に真剣に取り組み、常にステツプアップを目指す姿勢に敬意を表するとともに一層のご活躍をご期待します。

黒石市長 高橋 憲

平成26年第2回定例会の概要

平成26年第2回定例会は、8月6日から8月25日までの20日間にわたって開かれ市長提出の3報告・13議案を慎重な審議の上、いずれも原案どおり承認・報告・認定・可決・同意いたしました。

第2回定例会は全会満場一致で討論はありませんでした。

各議案の議決結果と各会派の賛否は下記のとおりです。

第2回定例会の報告・議決結果と各会派の賛否一覧（○は賛成、●は反対）

番 号	件 名	会 派 名			議 決 結 果
		自民・公明 ク ラ ブ	黒石市民 ク ラ ブ	日 共 産 本 党	
報告第23号	平成26年度黒石市一般会計補正予算（第4号）について	○	○	○	承認
報告第24号	平成25年度黒石市一般会計繰越明許費繰越計算書について	○	○	○	報告
報告第25号	平成25年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計継続費精算報告について	○	○	○	報告
議案第87号	平成25年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計決算認定について	○	○	○	認定
議案第88号	平成25年度黒石市水道事業会計決算認定について	○	○	○	認定
議案第89号	平成25年度黒石市下水道事業会計決算認定について	○	○	○	認定
議案第90号	黒石市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	原案可決
議案第91号	黒石市防災会議条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	原案可決
議案第92号	黒石市税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	原案可決
議案第93号	黒石市手数料条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	原案可決
議案第94号	黒石市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	原案可決
議案第95号	黒石市乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	原案可決
議案第96号	黒石市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	原案可決
議案第97号	財産の取得について	○	○	○	原案可決
議案第98号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	同意
議案第99号	平成26年度黒石市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	原案可決

第2回定例会一般質問



自民・公明クラブ
おおくぼ ともやす
大久保 朝泰 議員
(一問一答方式)

●市長の選挙公約の「元気な黒石」について

問 「黒石ブランド」のトップセールスとは。

答 農産物を「黒石ブランド」として磨き上げていきたいと考えています。特に米については、県の新たな奨励品種「青系187号」に期待しており、昔から寿司米として定評のあった黒石米も復活できないか検討したいと考えています。

問 植物工場の取り組みと、農業所得向上に繋げるためには。

答 植物工場は、試験的に実施している所や本格稼働している所もあります。こうした先進地の植物工場を調査、検証し、遊休農地等を活用した取り組みで、特に需要の高い野菜や花卉の苗等を供給出来るようになれば、本市の農業全体の所得向上に繋がるものと考えています。

●姉妹都市との交流について

問 ウェナッチ市との交流再開については。

答 ウェナッチ市とは、これまでの経緯や今後の展望を調査し再精査したうえで、交流を再開するか、姉妹都市を解消するかを含め、市長在任中に結論を出したいと考えています。



自民・公明クラブ
なかた ひろふみ
中田 博文 議員
(一問一答方式)

●市長の選挙公約の「安心な黒石」について

問 雪のない街づくりについて。

答 概ね降雪10cmで除雪を行い、路上や道路幅員が狭い箇所は併せて、各町内の空き地を雪捨て場として利用することも考えていきたいと思えます。

問 子供たちを産み育てやすい環境について。

答 保育料の軽減や乳幼児医療費の無料化の実施、さらに市独自の施策も講じて取り組んでいきます。

問 安全・安心な通学路の整備について。

答 今後とも必要とされる通学路の点検をしていきます。

問 健康相談員を配置した市民の健康寿命アップについて。

答 保健協力員の組織化を図りながら、健康づくりに必要な知識や検(健)診の重要性を市民に広げていきます。

問 ユニバーサルデザインの街づくりについて。

答 公園等の多目的トイレの設置や、歩道の段差の少ないものや、駅前前歩道へ無散水方式の融雪の導入をしています。

●市民文化会館について

問 再開の見通しは。

答 厳しい財政状況の中で改修工事の内容見直しを図り、必要最小限の費用でオープンが可能か検討中です。



自民・公明クラブ
くろいし ななこ
黒石 ナナ子 議員
(一問一答方式)

●市長の選挙公約の「自立した黒石」について

問 スローフードの取り組みと、グリーンツーリズムを産業として育成することについて。

答 スローフードの取り組みは、自分たちが栽培した農産物を料理の材料として提供するもので、安心安全な地産地消であり、子供たちの食育の向上と農家の所得向上につながると考えます。グリーンツーリズムにスローフードを取り入れ、この2つを併せて産業として育成できるものと考えています。

問 徘徊高齢者対策事業の経緯と現状について。広域的な連携については。

答 平成26年7月14日平川市、田舎館村と連携協定を結んでいます。弘前圏域定住自立圏の連携施策にはまだ取り上げられていませんが、個人情報、プライバシーについては家族の了解があれば問題ないと考えています。人権も大事ですが人命はもっと大切なので、再度弘前圏域定住自立圏の連携施策として提案してきます。





自民・公明クラブ

おおみぞ
大溝

まさあき
雅昭 議員

(一問一答方式)

問 市長公約の市民スポーツ力向上について、青少年スポーツの支援や指導者育成は。また、中止している市民体育大会の再開は。

答 スポーツ少年団等の支援は、学校単位の部活動と同様に補助できないか検討します。日本体育協会の公認指導員は21人おり、資格取得に協力を求めています。市民体育大会の復活は、競技種目や参加規則などの変更を踏まえ、各地区や競技団体と協議し再開できるか考えます。

問 福祉バスをほかの団体も利用したいという要望が多い。他にも方法はないのか。

答 福祉バスは1日平均で1・25台利用されています。黒石市社会福祉団体のバス使用等の要綱に従い、老人クラブ、社会福祉団体、障害者団体、児童福祉団体に貸しています。福祉団体が利用できない新しいバスの購入は、財政の関係もあり難しいと考えています。しかし、市民の要望があるので今後調査検討してまいりたいと考えています。



自民・公明クラブ

くどう
工藤

かずゆき
和行 議員

(一問一答方式)

問 小・中学校の適正配置、並びに学校給食について市長の考えと、それを受けた教育委員会今後の考えは。

答 (市長) 近年、国の動向は小中一貫・小中連携教育の推進や学校統廃合指針の見直しなど、めまぐるしく変化しています。このようなか、本市において、将来、市民、子ども達にとってどうあるべきか考えることが大切だと感じています。学校給食についても同じ思いであり、給食実施に伴う子どもへの食の安定供給、保護者の子育て支援などの面から見て、将来的には学校給食の実施は必要不可欠であると認識しています。

(教育委員会) 現在の「黒石市立小・中学校適正配置の方針」は、小中一貫・小中連携教育などの面において、今後は方針の一部見直しも視野に、優先度を明確にしながら進めます。学校給食は直近計画で、小学校統合時に弘前市から供給を受ける協議を進めてきましたが、本市が提供を受けるには供給元の増築工事が必要となるほか、受け入れる学校の改修にも多額の経費がかかります。また、統合の枠組みが確定しない中では、計画を進められない状態です。今後もあらゆる可能性を探っていきます。



黒石市民クラブ

くどう
工藤

かずこ
和子 議員

(一括方式)

問 市街地活性化に係る市の取り組みについて、具体的支援制度はあるのか。

答 空き店舗への新規出店者に対する家賃または改装費の一部補助を従前の制度を拡充して実施しています。また、経済産業省所管の「地域商店街活性化事業補助金」申請3団体に対し、事業計画に対して支援表明しており、事業実施段階にも、できることを支援していきます。今後も黒石商工会議所や商店街団体等関係機関と連携しながら、有効な施策について慎重に検討し、対策を講じていきます。

問 中心市街地の駐車場の不便さの解消については。

答 市中心部の横町にある空き地を活用し、そこに車の出入りが可能な「仮設こみせ」を試験的に設置します。9月中旬から約4カ月間設置する予定です。

問 中心市街地の空き店舗の現状は。

答 中心市街地の空き店舗状況は、今年2月に一番町通り商店街振興組合・協同組合横町向上会・こみせ通り商店街振興組合地域を調査した結果、調査対象数224件に対し空き店舗数が40件、空き地も加えた空き店舗率は24・1%です。



自民・公明クラブ
今井 敬 議員
(一問一答方式)

問 (仮称)西十和田トンネル建設は当市をはじめ津軽全域の活性化・産業・経済・文化の交流や冬期観光の路線拡大上、早期建設は必要不可欠であり、実現へ向け盛り上がりが必要である。今後の見通しと取り組みは。

答 県と課題解決に向けた協議調整を進め、地元有機運を盛り上げるため地元市町村や議会・民間団体などを交えた取り組みを検討します。

問 公約の目玉である「田園観光産業都市」への市長の思いと中身は何か。

答 第1次産業を中心とした6次産業化・観光振興・バイオマス産業の育成を目指しています。バイオマスは実行に移りつつあります。農業を産業として作り変えたいと考えています。

問 少子高齢化・人口減少が急速に進んでいるが当市としての対策は何か。

答 27年度から30年度までの第5次総合計画の後期基本計画を策定する計画であり、この計画に沿って対策に取り組みます。

問 全国的に空き家が増加する中、いろいろな問題も発生しているが、当市の空き家対策は。

答 国会への空き家対策に関する新法提出の動きを注視しています。管理不十分な建物については適正管理を要請して、数軒が解体されています。



黒石市民クラブ
佐々木 隆 議員
(一括方式)

問 「新市長が描く黒石市の将来像について」20年後には黒石市の人口が2万8千人程になると見込まれており、町内・地区の活動も困難になると思うが、それに対する市長の思いは。

答 推計人口のとおり人口が減少していくと地区や町内活動にも影響が出てくると考えられます。そのため、地区連絡協議会の方々や、その他の関係団体との連携をさらに深め、役割分担をすることで減少社会における黒石のあり方というものが模索できると考えています。

また、人口減少は全国的な傾向であるため、歯止めをかけるには全国的な対応が必要となります。そのため、国においても施策を打ち出してくると思いますが、本市に限らず青森県全体でも一番の対策は若者の雇用の場確保による定住対策だと考えます。本市でもバイオマス産業を育てて地域雇用の増加を図り、人口減少の歯止めを図り、20年後も元気な市であるよう努めてまいりたいと考えています。



自民・公明クラブ
工藤 俊広 議員
(一問一答方式)

問 市長の一期4年間の重点政策は何か、また実現していくために重要なことは何か。

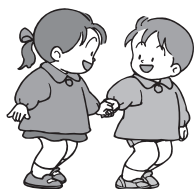
答 地酒で乾杯条例、空き店舗対策、地元企業の育成、黒石米の復活を重点政策として取り組んでいきます。政策の実現には、市民、職員、議会の相互理解が必要であり、同じ方向性を持つて進めるよう努力をしていきます。

問 公共施設等の長寿命化や施設の修繕、統合、廃止などに関わる、施設総合管理計画の作成状況はどのようになっているか。

答 施設総合管理計画の作成に向けて庁内の体制づくりを進めながら計画の作成に取り組んでいきます。

問 子ども子育て新制度について、国の制度が変わることから、幼稚園、保育園の利用料に影響が出ないように配慮を。また認定こども園への移行がスムーズに進むよう相談体制の充実を図ってほしいと思うがどうか。

答 幼稚園、保育園の利用料に大きな変化が生じないように努力していきます。新制度に関わる相談窓口の充実に努めていきます。





問 農林産物を「黒石ブランド」として広く販売するとあるが、バラバラに開発して売り込むのではなく、黒石市全体をブランド化すべき。買い手側にたった販売方法をしないと6次産業も失敗するのでは。

答 最終目的は黒石まるごとブランドを考えていますが、まずは農産物から進めていきたいと考えています。売り先を明確にし、売れるものを作っていきたいと考えています。

問 「地酒で乾杯条例」は全国でもブームとなっているが嗜好品でもあり、祝い事にあつたらべで乾杯することもある。酒類だけでなく、黒石の食文化やもてなしも伝える乾杯条例にしてはどうか。

答 次の議会に提案する考えですが、こみせはふるさとの象徴であり、こみせを維持存続していく意義からも乾杯条例をつくり、黒石の地酒を守っていきたいと考えています。

問 市長選挙が無投票であっても、市条例の見直しで選挙公報を発行できないか。市の広報に公約をのせることは可能か。

答 公選法第一七一条では無投票の場合は発行しないとされ、それに準じた市選挙公報に関する条例であり、発行することはできません。市広報には、当選後に公約として掲載することは可能ですので検討します。

第5回「議会報告会」

5月17日(土)午後6時からスポカルイン黒石、大会議室にて第5回目の議会報告会が開催されました。

今回の報告会は、26年度予算について、黒石の活性化についての報告を行った後、市民の皆さんと意見交換を行いました。

質疑の中で福祉バスの利用について、子ども達にも利用が出来るようにして欲しい、農道などの危険箇所を視察して欲しい、中心市街地の対策だけでなく郊外の事も考えて欲しい、文化会館の取り組みについてなどの意見交換を行いました。

農道の危険箇所の視察は常任委員会を中心に行い、改善出来るところは早速対応いたしました。福祉バス、文化会館、空き店舗対策など議会報告会に寄せられた多くの意見を元に9月議会でも多くの議員が取り上げ、一般質問を行いました。

今後も議会に寄せられる市民の皆さんの意見に耳を傾け、市民生活の改善に取り組んで参りたいと思っております。市民の皆さんの、議会報告会への参加、議会へのご意見、ご要望をお待ちいたしております。

【きたひろしまシティセールス事業について】

北広島市は札幌市のベットタウンとして人口が増えましたが、2004年から増えなくなってきました。

そこで、市の課題と資産を見直し、まちに魅力を作り、移住してもらう事業に取り組むことになりました。地域ブランド創造事業、まちの魅力発信事業、地域情報の発信事業を進めながら、北広島に来てもらい、最終的には住みたいと思ってもらいます。26年度は20～50代の子育て世代をターゲットとして、市の魅力を発信し、移住・定住を促進しています。

おためし移住で、月6.6万円の住宅を貸したり、初めて住宅を購入する方に50万円助成したり、大胆なアイデアを取り入れています。人口減少社会に向けて、長期的に考えて、実行していかなければなりません。



●議員研修報告

- 自民・公明クラブ
村上 隆昭・工藤 俊広
北山 一衛・大溝 雅昭
大久保朝泰・工藤 和行
中田 博文・村上 啓二
今井 敬・黒石ナナ子

視察先 北海道 北広島市
(7月3日～4日)

【十和田湖観光再生について】

経済建設常任委員会(今井敬委員長)が十和田市を訪問し、観光経済常任委員会、市観光推進課の方々の歓迎を受けました。

十和田湖観光再生についての説明を聞いた後、意見交換を行いました。東日本大震災後の観光客入込数の大幅減少により観光事業者の経営悪化が進み、休屋地区で多くのホテル、商店、食堂が閉館し、観光地として景観の悪化が進み危惧されている中で、市の十和田湖再生第1歩として遊覧船ターミナル取得、改修工事や27年実施の全国サイクリング大会へ向けて取り組んでいるとのことでした。



その後、市職員の案内により休屋地区へ移動し、街並み全体を視察しました。あまりに閑散とした景観に驚き、一刻も早い国・県・関係市町村の連携、取り組みが必要であると強く感じたことを報告いたします。

**経済建設常任委員会
活動報告**

- 委員長 今井 敬
副委員長 工藤 禎子
委員 中田 博文
// 村上 啓二
// 工藤 和子

視察先 十和田市
(6月25日)

「議会基本条例について②」

今回は条例の第1条から6条までの内容を説明します。

- 第1条 この条例の目的は、**議会及び議員の活動原則等を定め、議会が担うべき役割を明確にし、議会の活性化を図り、市民の付託に応えられる議会運営の実現を図ること**です。
- 第2条 議会における議員の活動原則として、適切な行政運営が行われているかを**監視し評価すること**と、市民に**開かれた議会運営・わかり易い議会運営に努めます**。
- 第3条 議員の活動原則について議員は、独自の**調査研究及び市民意見の聴取に努め、議員間の自由な討議を通じて市民全体の福祉の向上を目指して活動します**。
- 第4条 議員は、**政策を中心とした同一の理念を共有する議員で構成する会派を結成**できます。
- 第5条 市民参加及び市民の連携について議会は、市民に対し積極的に情報を発信し、**説明責任を十分に果たします**。本会議のほか、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会は原則公開し、**参考人制度及び公聴会制度**を十分活用します。市民、市民団体等との**意見交換の場**を設け、重要な議案に対する各議員の対応について市民が的確に評価できるよう**広報等で情報の提供に努めます**。
- 第6条 議員及び市民が自由に情報及び意見交換する**議会報告会**を開催します。

宮古市・黒石市 姉妹都市議員交流会

去る7月1日・2日と、2年ぶりに姉妹都市である宮古市から前川議長ほか22名の宮古市議会議員が来黒されました。村上議長ほか14名で歓迎し、1年ぶりの交流をいたしました。

1日には、スポカルイン黒石で行われた「黒石市市制施行60周年」の記念式典に出席していただきました。式典では、宮古市で活動されている「山口太鼓の会」の皆様による創作太鼓が披露され、迫力のある公演で式典を盛り上げていただきました。

祝賀会終了後には、議員交流会を開催いたしました。活発な意見交換を行い、議員同士の交流を深めました。

翌2日は、地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所を視察しました。地内の果樹を見学いたしました。

最後には、両市のさらなる発展と、来年の宮古市での交流会開催を約束し、宮古市の皆様を見送りました。



編集後記

平成26年第2回(8月)定例議会は、高樋新市長を迎えての初の議会となりました。一般質問では、従来の一括質疑に加え、一問一答方式が始まり、質問者10名中8名が採用し、市長の公約や政策等を質しました。効果のほどは?これから経験を積み、研鑽を重ね、市政の監視や政策提言につながることを期待されています。

日本社会の少子高齢化が進みます。進み、人口減少社会をむかえた今、とりわけ地方中小都市は、厳しい未来が予想されています。であればこそ、我々議会は将来を見据え、現状を見つめ、市長以下行政側との議論を通して、市民にとってのよりよい黒石市が実現するよう努力してまいります。

ぜひ議会を傍聴してください。

工藤 和行

議会だより編集委員会

委員長	大溝 雅昭
副委員長	工藤 博行
委員	中藤 和雅
委員	工藤 藤子
委員	佐藤 和隆
委員	黒石 ナナ子

お問い合わせ先

黒石市議会事務局

〒036-0396 黒石市大字市ノ町11番地1号
 電話 0172-521219
 FAX 0172-5317410